

提出日 2025 年 7 月 18 日

女子大学生におけるチャット GPT の「相談相手」としての役割

子ども専攻 鏡原ゼミ

学籍番号 J022015 氏名 芝戸 ひとみ

1. 研究の目的

読売新聞（2025）の記事によると、大学生の 5 割が「チャット GPT」などの生成 AI（人工知能）を継続的に利用していることが明らかになった。昨年の調査では 3 割に満たなかったことからも、今年は普及が進んでいることが分かる。読売新聞（2023）によると生成 AI「チャット GPT」に愚痴をこぼしたり、悩みを聞いてもらったりする人が増えていると述べている。ただ、AI が正しいと過度に思い込む、孤立を深めて人間に相談しなくなる、といったケースが見られるようになっており、こうしたケースの増加が問題であると考えられる。

のことから本研究は現代の女子大学生における AI の利用実態と、その心理的影響について明らかにすることを目的とする。また、周りの人に相談する機会が減ったり、AI の答えを信じすぎてしまったりするような影響やリスクについても検討する。

2. 方法

本学の女子大学生 100 人を対象に、チャット GPT、Google Gemini、Google AI Studio から利用している AI についてアンケートを行う。また、AI の使い方によるリスクについて、五段階評価と自由記述によるアンケート調査を 20 項目の質問を Google form にて実施する。

3. 今後の計画

Google form でアンケートを作成し本学の女子大学生に回答をしてもらう。

4. 参考文献

読売新聞社（2025）「大学生の半数『生成 AI を継続的に利用』、昨年から 2 割以上増…『授業や研究』『論文・リポート作成参考』に」 読売新聞オンライン 2025.3.3

読売新聞社（2023）「チャット GPT は遊び相手？ 頼れる相棒？ 悩みを相談してみた」 読売新聞オンライン 2023.4.27

提出日 2025 年 7 月 18 日

読み手の表情は子どもがより登場人物の感情を読み取る手助けになるのか

子ども専攻 鏡原ゼミ
学籍番号 J022019 氏名 中井ちひろ

1. 研究の目的

今井ら(1994)より、絵本の読み聞かせを通して子どもたちは登場人物の感情と自分の経験した感情を重ね、登場人物の気持ちに共感することで感情認知能力を高めていくと明らかにしている。このことから、子どもたちは多くの経験をし、他者理解を深めてきたからこそ登場人物の気持ちに共感し、様々な感情が湧き出ると考えられる。鏡原ら(2024)は、読み手の有無で子どもの集中力の違いがあると述べているが、読み手の表情によって子どもの表情がどのように変化をしているのかは明らかにしていない。そこで本研究では、感情認識能力が高い大人が無表情で読む動画と、登場人物の感情に合わせた表情に表出しながら動画を子どもに視聴させ、子どもの笑顔や悲しそうな表情、無表情などの変化を明らかにする。また、動画視聴後に子どもに登場人物の感情に関する問題を解いてもらい、上記 2 つの動画のどちらを視聴した後の方が、より登場人物の感情を理解できたのか点数化をして比較する。そして、読み手が無表情ではなく登場人物の感情に合わせた表情で読み聞かせを行うことで、文章や読み方だけでなく、登場人物の感情をより深く読み取る助けになるのかを検証する。

2. 方法

登場人物の感情に合わせて表情を変える読み聞かせ動画と無表情での読み聞かせ動画を 5 歳の子ども 20 人ずつに分けて視聴させ、その表情をビデオに録画し、Open Face にかける。そしてポジティブな表情(優しく微笑む、口を開けて笑っている), ネガティブ(怒っている、泣いている、不満そう), ニュートラルな表情(無表情), 分別不可能な表情に分別し表情変化について分析をする。その後 1 人ずつに登場人物の感情についての質問をし、感情を伝えやすいように感情の候補(喜び・悲しみ・怒り)を提示し子どもに答えてもらう。

3. 今後の計画

9 月無表情動画と表情変化動画を制作し、子どもへ提示して表情を録画する。

4. 参考文献

鏡原崇史・増本達彦・岡部祐子(2025). 絵本の読み聞かせにおける読み手の有無の影響：乳幼児の「よそ見」行動の分析. チャイルド・サイエンス, 28, 53-58.

提出日 2025年7月18日

プルースト現象における匂いの種類と状況記憶の男女の違い

子ども専攻 鏡原ゼミ

学籍番号 J022024 氏名 濱田梨湖

1. 研究の目的

ふとした瞬間に香ってきた匂いで、昔の記憶を思い出した経験が誰しも一度はあるのではないか。このように、特定の香りを嗅いだとき、その匂いに紐づいた過去の記憶や感情が無意識的に呼び起こされる現象経験のことをプルースト効果という。20世紀フランス作家のマルセル・プルースト「失われた時を求めて」という小説の中で、紅茶に浸したマドレーヌを食べていると、ふと幼い頃の記憶が鮮明に蘇ってきたという場面に因んで名付けられた。川部(2014)は、プルースト現象において想起されるのは、特定にせよ概括にせよ、エピソードとしての記憶である場合もあれば、エピソードの形をとらない記憶である場合もあると考えられると述べている。さらに、においの手がかりはダイレクトに体験者の身体に作用する可能性が示された。それは、例えば、街中ですれ違った男性の香水の匂いが元カレの香水の匂いと同じだった時、昔付き合っていた記憶を思い出すことである。Marley DKら(2017)は、女性の方が脳で匂いを判断するときにコントラストをつけやすく、匂いに対する感受性が豊かであると報告している。しかし、男女でどのような匂いの種類及び、匂いと結びついた状況記憶が残りやすいのかは明らかにされていない。そこで本研究では、まず、プルースト現象が起きたことがあるのか調査し、その匂いがどんな匂いで、どの場面が想像されるかの男女差を検証する。

2. 方法

20代の男女50名、合計100名を対象に、アンケート用紙を用いてプルースト現象の有無とその時の匂いの種類を調査する。また、その匂いからどのような状況が連想されるか質問し、男女差を比較する。

3. 今後の計画

8月にアンケート用紙を作成する。9月にアンケート用紙を配布して実施する。

4. 参考文献

Heidari, M. (2022). Investigating the Role of Mllt11 in Subventricular Zone Neurogenesis and Development of the Olfactory Bulb (Doctoral dissertation, Dalhousie University Halifax).

提出日 2025 年 7 月 18 日

テーマ：集中力と表情変化から見る手遊びの影響

子ども専攻 鏡原ゼミ

学籍番号 J022025 氏名 藤岡咲良

1. 研究の目的

保育現場での様々な時間に見られる手遊び。手遊びは、手指の発達や表現力を育まれるだけでなく、活動と関連した内容の手遊びを行うことで、活動の内容の理解を助ける。その結果、手遊びへの興味や楽しさを高める効果がある。

目久田・越中（2018）の研究では、幼児を課題関連手遊び群と課題無関連手遊び群に分け、描画課題に取り組んでいる 10 分間の様子を記録し、余所見の回数と時間を比較した。その結果、課題関連手遊び群の方が描画活動開始から 2 分 30 秒までの集中力を有意に向上させることができた。ただし、この効果は活動序盤に限定され、終盤では集中力が低下した。このことから、導入としての手遊びが保育活動中の幼児の集中力に有益な効果をもたらすことが明らかにされている。また、活動と関連した手遊びは集中力を高めるだけでなく、子ども達の興味や楽しさの感情を引き出す可能性があると考えられる。

そこで本研究では、目久田・越中（2018）の研究を基に、活動に関連した手遊びを行う群、活動と無関係だが楽しい手遊びを行う群に分け、手遊びと活動に取り組んでいる様子を記録し、余所見の回数から、手遊びの内容による、子ども達の集中力の継続時間の変化を検討する。さらに、活動に関連した手遊びを行う子どもと活動と無関係だが楽しい手遊びを行う子どもの、活動中の「笑顔」「嫌悪」「悲しみ」「無表情」などの表情変化の回数から、表情がどのように変化するのかを明らかにする。

2. 方法

5 歳児 20 名に対し、活動に関連した手遊びを行う群、活動と無関係だが楽しい手遊びを行う群に分けて手遊びを行い、その後、同じ内容の活動を 10 分間行う。その様子を記録し、集中力の継続時間と表情の変化を明らかにする。

3. 今後の計画

園に行き、手遊びを行い、子ども達が手遊び・活動を行っている様子を録画し、録画したビデオを見て、余所見の回数や表情の変化を記録する。

4. 参考文献

目久田純一・越中康治. (2018). 保育活動に対する幼児の集中力に及ぼす導入としての手遊びの効果. 梅花女子大学心理こども学部紀要, 8, 1-9.

提出日 2025 年 7 月 18 日

保護者の玩具選好に対する意識と子どもの玩具選好の差異について

子ども専攻 鏡原ゼミ

学籍番号 J022029 氏名 平家知佳

1. 研究の目的

LEGO の調査では、遊びに性別の区別があると考える子どもが多く、男子 74%、女子 62% が「男の子向け」「女の子向け」の遊びがあると回答している。白川（1991）は、幼児が両親の性別に応じた玩具への期待を認識し、その期待に沿って玩具を選好する傾向があると述べている。これらのことから、両親が幼児の性別に合わせて玩具を選好していることが分かる。つまり、異性向けの玩具を選好することへの不安から、性別に合わせた玩具を選択していると考えられる。京都新聞（2022）によると、日本玩具協会は「ボーイズ・トイ」「ガールズ・トイ」部門を廃止し、SDGs の「ジェンダー平等」に対応する「キャラクター・トイ」部門を設けたと述べている。ラジオ関西（2021）でも、トイザらスが性別表示を撤廃し始めていると述べられている。そのため、玩具や玩具売り場でもジェンダーレス化が進んでいるといえ、異性向け玩具の選好に対する意識が変化していると考えられる。バンダイ（1995）の調査では、3~5 歳児の男児はヒーローごっこ、女児はままごとが最も人気だったが、ジェンダー平等の意識が高まる中で、幼児の遊びにも変化がみられると考える。

本研究では、子どもを育てている保護者を対象とし、異性向けの玩具選好に対する意識を男女別に調査を行い、その差異について明らかにする。また、園で幼児がどのような遊びを選好しているのか観察し、男女別で遊びの内容を記録する。そして、バンダイのアンケートと比較し、その差異を明らかにする。

2. 方法

3 歳~6 歳児の保護者 100 名を対象に、異性向けの玩具を選好することに対してどのように考えているのかについてアンケートを作成し、調査を行う。

3 歳~6 歳児を対象とし、普段どのような遊びを選好しているか男女別に何人がその遊びをしているのか記録し、バンダイのアンケートと比較を行う。

3. 今後の計画

- ・異性向けの玩具の選好に対してどのように考えているのかアンケートを作成する。
- ・3 歳~6 歳児が普段どのような遊びを選好しているのか記録し、バンダイのアンケートと比較する。

4. 参考文献

白川佳子.(1991).発達 329 幼児による両親の玩具期待の認識と幼児の玩具選好.日本教育心理学会総会発表論文集 第 33 回総会発表論文集 273-274.

提出日 2025 年 7 月 18 日

恋愛ソングの年代別歌詞の変化・特徴からみる恋愛観の変遷

子ども専攻 鏡原ゼミ

学籍番号 j022031 氏名光田萌恵

1. 研究の目的

大出・松本・金子（2013）は年代問わずラブソングは流行する傾向にあると示唆し、金和（2022）は、歌詞にはその時代の人々の心情や思考が反映されていると述べている。また、太田（2020）は女性の社会進出が進んだことにより恋愛観が変化したと述べている。つまり、どの年代にも恋愛ソングは親しまれ、恋愛ソングはその時代の恋愛の在り方、恋愛の変容を示しているものであるといえるだろう。

大出・松本・金子（2013）は、1978年から2012年の流行歌の歌詞を分析し、年々ポジティブで明るい歌詞が好まれるようになったことを示した。だが、先行研究では年に一曲の少ない曲数で研究しており、この結論の精度は低い。また、恋愛ソングのみの年代別歌詞の変化・特徴は明らかになっていない。東洋経済オンライン（2022）が、コロナ禍を経て、生活の安定を求める中で恋愛意欲が高まったことを示したことから、2020年以降の恋愛には変化が見られたと考えられる。だが、金和（2022）の研究では、2020年までの流行歌の歌詞分析を行っており、コロナ禍で恋愛観に変化が見られた2020年以降の恋愛ソングの傾向は明らかになっていない。

本研究では、昭和から令和の恋愛ソングの歌詞と特徴を分析し、時代を超えて親しまれる恋愛ソングの変遷と恋愛観の変化を明らかにする。

2. 方法

【対象作品】：昭和（1970年）～令和の恋愛ソング

【分析方法】：解析ソフト KH Coder を用いてテキストマイニングを行い、恋愛ソングの歌詞に頻出する単語を分析し、出現頻度を算出及び共起ネットワークの作成を行う。

3. 今後の計画

歌詞の解析を行い、恋愛ソングの特徴や共通点を論文にまとめる。

4. 参考文献

大出彩・松本文子・金子貴昭（2013）流行歌から見る歌詞の年代別変化. ジンもんこん 2013 論文集, 4, 103-110.

提出日 2025 年 7 月 15 日

テーマ：外国にルーツを持つ子どもに対する園の関わり

子ども専攻 山口ゼミ

学籍番号 J022001 氏名 浅野未来

1. 研究の目的

私は昔から外国に興味があり、大学で保育者を目指し始めて、外国にルーツのある子どもにどのように関わればよいかを知りたいと考えるようになった。日本における在留外国人数（2024年12月末）は376万8977人で、過去最多となっている。特にベトナムやインドネシアなどの東南アジア国籍が増加傾向にある（咲間 2020）。外国にルーツのある子どもを保育する園での課題として、母語や文化、習慣の違いによる園児同士のトラブル・保育士と保護者のコミュニケーションの課題・小学校生活を見据えた言語やコミュニケーション等に関わる支援が十分にできないなどが考えられる（同上）。外国にルーツのある子どもが多い地域では実践が蓄積されているが、愛媛は1万8687人（35位／47都道府県）とそれほど多くない（出入国在留管理庁 2024）。身近な地域で実際に保育者はどのように関わり、支援しているのだろうか。

2. 方法

インタビュー調査（外国にルーツのある子どもと関わったことのある保育者に、子どもとの関わり方や保護者とのコミュニケーションの課題について尋ねる）

3. 今後の計画

8～9月 インタビュー調査の設計

10～11月 インタビュー調査実施、卒業論文執筆

12月 卒業論文完成

4. 参考文献

咲間まり子、2020、『保育者のための外国人保護者支援の本』かもがわ出版。

出入国在留管理庁、2024、https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_touroku.html. (2025年7月15日確認)。

提出日 2025 年 7 月 17 日

テーマ：母親の幸福が子どもに与える影響

子ども専攻 山口ゼミ

学籍番号 J022002 氏名阿部楓亜里

1. 研究の目的

私は子どもが幸せに育つために、親も楽しみながら子育てをできることが理想だと考える。

清水・伊勢(2006)は、母親は自身の成長を実感し、子どもの愛着形成をとおして育児幸福感を感じていると述べている。また、清水ほか(2007)によると育児幸福感により「癒される」「思いやりの心」「育児の原動力」の効果がもたらされ、子どもとの時間、空間、気持ちの一体感によって育児幸福感が高められるという。

少子化が問題視されている現社会の中、母親が楽しんで育児を行うことにより、子どもも幸福に育ち、将来的に家庭を持つことに対して前向きなイメージを持つことができるのではないかと考える。そこで本研究では、母親が考える理想的な育児とは何かを明らかにし、そしてその育児方法が子どもの幸福や成長にどのように結びついているのかを考察していきたい。

2. 方法

文献調査、インタビュー調査（子育て支援センターの職員に母親の育児幸福感と子どもの幸福や成長の関連について尋ねる）

3. 今後の計画

7月 中間発表会 8～9月 インタビュー調査の設計

10～11月 インタビュー調査実施、卒業論文執筆

12月 卒業論文完成

4. 参考文献

清水嘉子・伊勢カンナ、2006、「母親の育児幸福感と育児情報の事実」『母性衛生』第47巻2号、pp.344-351.

清水嘉子・遠藤俊子・松原美和・松浦志保・赤羽洋子・宮澤未知留・黒田裕子、2007、「子育て期をより幸福に過ごすための母親の工夫とその効果」『日本助産学会誌』21巻2号、pp.23-35.

提出日 2025 年 7 月 15 日

テーマ：女子大生とお世話人形～変わる時代と変わらない魅力～

子ども専攻 山口ゼミ

学籍番号 J022003 氏名 池田野乃実

1. 研究の目的

私は、幼いころから人形遊びが好きである。ポポちゃん、メルちゃんなどは長年愛されてきた有名なお世話人形である。メルちゃんは pilot 社から 1992 年に発売された 1.5 歳以上を対象としたお世話人形である。ネネちゃんやりこちゃんなど姉弟やお友達も多く発売されている。ポポちゃんは、people 社から 1996 年に発売された 2 歳児以上を対象としたお世話人形である。おなかとおしづりがぬいぐるみのような触り心地であることが特徴である。最近では男児向けお世話人形（宮下 2021）や、話す・寝かしつけができるなどの機能を備えた新たなお世話人形が発売されている。そこで、私はお世話人形の歴史と遊び方を調べ、そのうえで現代の女子大生とお世話人形の関係性を明らかにする。これにより、時代が変わっても愛され続けるお世話人形の魅力を明らかにしたい。

2. 方法

- ・文献調査（お世話人形について）
- ・アンケート調査（女子大生を対象として、お世話人形で遊んだ経験やイメージについて尋ねる）

3. 今後の計画

8～9 月 アンケート調査の設計

10～11 月 アンケート調査実施、卒業論文執筆

12 月 卒業論文完成

4. 参考文献

宮下美砂子、2021、「子ども文化の現代的様相：玩具・人形からの考察」『千葉大学人文公共学研究論集』42、pp. 19-33.

提出日 2025年7月15日

テーマ：卵アレルギーに対する保育者の対応

子ども専攻 山口ゼミ

学籍番号 J022017 氏名 曽我部有唯

1. 研究の目的

保育所での実習の際に、担当したクラスに卵に対する食物アレルギーの子どもがおり、全日実習の際にも私ではなく担任の保育者が個別対応をしていた。

日本でも世界的にみても、食物アレルギーの経験をもつ人が多くなっている（神奈川ほか 2017）。「何らかの食物を摂取後 60 分以内に症状が出現し、かつ医療機関を受診したもの」を対象に実施された「平成 23 年度即時型食物アレルギー全国モニタリング調査」では、卵が約 40% と最も多くなっている（同上）。このため、今後現場で出会う可能性の高い、卵アレルギーをもっている子どもの対応について調べていきたいと考えた。保育所におけるアレルギー対応について、厚生労働省（2019）はガイドラインを策定している。本研究では、園の個々の保育者がそれらをどう認識して、日常的な対応をしているかを明らかにする。

2. 方法

・ インタビュー調査（新人保育者対象、卵アレルギーの子どもの対応について）

3. 今後の計画

8～9月 インタビュー調査の設計

10月～11月 インタビュー調査実施、卒業論文執筆

12月 卒業論文完成

4. 参考文献

神奈川芳行・伊藤節子・今村知明、2017、「食物アレルギーと上手につき合う方法—社会的対応と日常の留意点—」、第一出版。

厚生労働省、2019、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019 年改訂版）（素案）」。

提出日 2025年7月17日

テーマ：保育学生のための絵本選択支援の研究

子ども専攻 山口ゼミ

学籍番号 J022026 氏名 藤崎莉々子

1. 研究の目的

実習で読み聞かせをする絵本を選びに本屋に行ったとき、中身が見られない絵本が多く、対象年齢や子どもの反応が予想できずに困った経験がある。毎年多くの絵本が出版されている中で、適切な絵本を選択することは困難である。

このような問題に対する支援として「絵本リスト」が存在する。絵本リストには、書籍事項の他に絵本の内容や対象年齢などが書かれている。また、今満ら（2011）は絵本選択について、子どもの様子が絵本の紹介と同程度に参考にされたことを示すと共に、絵の説明や絵の見やすさ、読む時間、本のサイズなどの情報に対する要望があったことを述べている。そこで私は、これらの情報などを含めたオリジナルの絵本リストを作成し、それを用いて保育学生を対象として絵本選択と読み聞かせの実践（実験）を行う。これにより、絵本リストがどのように参考にされるのかを明らかにし、妥当性を検討し、保育学生の絵本選択支援につなげたい。

2. 方法

- ・文献調査
- ・絵本選択と読み聞かせ実践の観察およびインタビュー調査

3. 今後の計画

8～9月 絵本リストの作成と調査の設計

10～11月 調査の実施、卒業論文執筆

12月 卒業論文完成

4. 参考文献

- ・今満亨崇、松村敦、宇陀則彦（2011）子どもの様子に着目したお話会のための絵本選択支援の研究 日本教育工学会論文誌 35、109 - 112

提出日 2025年7月18日

テーマ：障害児に対する水中運動療育の影響について

子ども専攻 山口ゼミ

J022032 守田真尋

1. 研究の目的

障害のある子どもたちへの療育は、もともと医療的な支援を目的とした「医学モデル」から始まり、現在では子どもの自尊心や主体性を育てる「発達支援」へと変化してきている（津田,2020；植田,2023）。療育を通して、将来的に子ども自身が自分の人生を豊かに生きる力を育むことが重要視されている。

中でも運動を使った療育は、身体機能の向上だけでなく、社会性や情緒の発達にも良い影響があるとされている（土屋,2024）。その中で注目されているのが「水中運動療育」である。水中という特有の環境では、浮力や水圧の刺激により、陸上では難しい姿勢保持や運動がしやすくなる（杉ら,2002）。

だが、こうした研究では水中運動療育による身体的・心理的な面から多くの可能性は示しているが、水中活動の具体的な内容や支援者の関わり方の詳細について記されていない。このことから本研究では、「どうして水中運動療育が人気なのか」「療育に通う子どもにどのような変化があるのか」に着目する。

2. 方法

療育施設において水中運動療育の様子を観察し、職員の方にインタビューを行う。

3. 今後の計画

8～9月 インタビュー調査・観察調査の設計

10～11月 調査実施、卒業論文執筆 12月 卒業論文完成

4. 参考文献

津田明美（2020）.福井県子ども療育センターのめざす「療育」.子どものこころと脳の発達.11卷.1号.42-47.

植田紀美子(2023).療育と児童発達支援の現状と課題.社会保障研究.8卷.1号.4-16.

土屋さとみ(2024).発達障害のある子どもに対する心理学に基づく療育アプローチ.リハビリテーション・エンジニアリング.39卷.1号.15-18.

杉哉子・松田真正・小野寺昇・眞田敏・中島洋子・佐々木正美・江草安彦(2002).自閉症児の行動および言語に及ぼす水中運動の影響.川崎医療福祉学会.12卷.1号.133-137.

提出日 2025 年 7 月 17 日

テーマ：愛着スタイルが女子大学生の友人関係に与える影響

子ども専攻 山口ゼミ

学籍番号 J022035 氏名山高陽菜

1. 研究の目的

本研究の目的は、青年期の女性における愛着スタイルと同性同士の友人関係の関連を明らかにすることである。愛着スタイルとは人間関係が対人関係を形成する場面で見られる心理的な傾向（愛着行動の様式）のことであり、回避型、不安型、安定型の大きく三つに分けられる（鈴木・塚野 2017）。

大学は高校までと異なり、クラスがなく、授業も自由に選択することができるため、友人関係の築き方も様々である。松山東雲女子大学は、女子しかいないため、それが心地よいという学生もいれば、女子ならではの関係の難しさを感じる学生もいる。そこで、本研究では女子大学における友人関係（同性）と愛着スタイルの関連性を調べることで、それぞれに合った学生生活の在り方を考えたい。

2. 方法

松山東雲女子大学の学生を対象としたアンケート調査

（主な質問項目：学科・学年、愛着スタイルを特定するための性格に関する項目、友人関係の状況、女子大に対する認識）

3. 今後の計画

8～9月 調査の設計

10～11月 調査の実施、卒業論文執筆

12月 卒業論文完成

4. 参考文献

鈴木昌喜・塚野弘明、2017、「大学生の愛着スタイルと幼少期の親子関係に関する研究」『岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要』第 16 号, pp. 71-81.